

# 道路施設管理計画

(橋りょうを除く)

令和3年2月

富山県滑川市建設課

# 目次

I	計画の概要	
I-1.	計画の目的	1
I-2.	計画期間	1
II	舗装	
II-1.	舗装の現状	1
II-1.1	管理道路	1
II-1.2	本計画の対象路線	1
II-2.	舗装の維持管理の基本的な考え方	2
II-2.1	維持管理の基本方針	2
II-2.2	管理道路の分類（グループ分け）	2
II-2.3	管理基準	2
II-2.4	点検方法・点検頻度	3
II-3.	対策の優先順位	3
II-4.	舗装の状態	3
表-II-4-2	補修路線優先ランク	4~5
II-5.	対策の実施状況	6
II-5.1	過去の実績内容	6
II-5.2	令和3年度以降の優先順位	7
III	付属施設	
III-1.	付属施設の現状	8
III-1.1	管理施設	8
III-1.2	本計画の対象施設	8
III-2.	道路付属施設の維持管理の基本的な考え方	8
III-2.1	維持管理の基本方針	8
III-2.2	点検方法・点検頻度	8
III-3.	対策の優先順位	8
III-4.	付属施設の状態	9
III-5.	対策の実施状況	9

# I 計画の概要

## I-1.計画の目的

本計画は、道路施設の老朽化を見据え、財政負担の軽減や平準化を目的とし、予防保全を基本とする管理を推進するものです。

## I-2.計画期間

令和12年度までの計画期間とします。

# II 舗装

## II-1.舗装の現状

### II-1.1 管理道路

滑川市が管理する道路延長と舗装延長を表-II-1-1に示す。

表-II-1-1 管理道路と舗装延長

単位 (m)

果に基づく診断	延長	舗装延長			未舗装	未供用延長	
		アスファルト舗装		コンクリート舗装		海上区間	その他の区間
		高級	簡易				
市道1級	37,628	10,935	26,509	184	0	0	0
市道2級	34,077	21	33,736	320	0	0	0
市道その他	216,721	14,224	189,722	8,385	4,390	0	3,350
合計	288,426	25,180	249,967	8,889	4,390	0	3,350

### II-1.2 本計画の対象路線

本計画では、市が管理する路線を対象とする。

表一Ⅱ-1-2 対象路線

NO	路線番号	交通量区分	路線名	対象延長 (m)	備考
1	A0001	B	滑川・富山線	4,145	
2	A0002	B	菰原辰野線	2,746	
3	A0003	B	下島・柳原線	2,226	
4	A0004	A	国道・橋場線	1,665	
5	A0005	A	江尻・高月線	1,148	
6	A0049	L	辰野曲淵線	482	総延長 1,484m
7	A0101	L	高月加島町線	810	
8	A0126	L	橋場・常盤町海岸線	800	総延長 1,055m
9	A0173	B	滑川・駅前線	445	
10	A0174	B	柳原・中村線	3,585	
11	A0189	L	滑川駅前区画10号線	134	
12	A0254	C	滑川中央線	1,450	
13	A0264	L	坪川町内2号線	378	
14	A0275	B	旧国道下島線	451	
15	A0276	B	下島上小泉線	721	
16	A0302	A	下梅沢江尻線	458	
17	A0304	A	旧北陸街道線	2,102	
18	A0347	B	駅南中央線	557	
19	A0348	A	駅南環状線	2,431	
20	B0009	L	東福寺・安田線	3,930	
21	B0023	L	寺町小林線	2,405	
22	B0031	L	小林宮窪線	1,014	
23	B0036	A	上梅沢下梅沢線	1,535	
24	B0037	L	堀江上梅沢線	1,675	
25	B0047	L	有金上島線	1,218	総延長 1,511m
26	B0051	L	宮窪上小泉線	1,138	
27	B0063	L	下梅沢上小泉線	1,735	
28	B0065	A	上島工場団地線	540	
29	B0069	L	本江神田橋線	597	
30	B0075	L	東福寺野本江線	1,909	
31	B0094	L	宮窪上小泉旧県道線	1,340	
32	B0095	B	上島上小泉線	740	
33	B0096	A	上梅沢国道線	325	
34	B0174	B	本江栗山線	5,075	
35	B0175	L	赤浜宮窪線	3,045	
36	C0015	L	下大浦町内3号線	329	
37	C0035	L	旧県道栗山追分線	2,059	
38	C0051	A	宮窪大島線	3,735	
39	C0053	L	中野島坪川線	1,383	総延長 1,764m
40	C0061	L	中村旧県道線	1,463	
41	C0068	L	北野大掛線	1,194	
42	C0070	L	大日大浦線	1,722	
43	C0080	L	大榎宮窪線	2,314	
44	C0089	B	大窪栗山線	245	
45	C0137	L	大榎二塚線	987	
	合計			70,386	
				70.4 (km)	

## II-2. 舗装の維持管理の基本的な考え方

### II-2.1 維持管理の基本方針

点検結果を踏まえた適切な処置を行うことで、道路の長寿命化や舗装維持修繕のライフサイクルコストの縮減を目指す。  
維持管理の基本方針を表ーII-2-1に示す。

### II-2.2 管理道路の分類（グループ分け）

舗装点検要領（国土交通省道路局 平成28年10月）に基づき計画対象路線を交通量により分類する。

表ーII-2-1 滑川市における管理道路の分類

分類	各分類の内容
分類Bの道路	・ 損傷の進行が速い道路（例 大型車交通量が多い道路） →交通量区分C、B、A
分類Cの道路	・ 損傷の進行が緩やかな道路（例 大型車交通量が少ない道路） →交通量区分L
分類Dの道路	・ 生活道路 →上記以外の道路

### II-2.3 管理基準

舗装の管理基準には、路面の“ひび割れ率”、“わだち掘れ量”、“平坦性”から計算される舗装維持管理指数MCIを使用し、上記の分類とMCIの区分ごとにa~cランクで分けることにした。  
管理基準を表ーII-2-2に示す。

補修を行う路線の優先ランクは以下のとおりとする。

- ランクa：早急な修繕が望ましい
- ランクb：部分的な補修が望ましい
- ランクc：当面の維持修繕は不要

表ーII-2-2 交通量ごとのランク分け表

分類	MCI ≤ 4	4 < MCI ≤ 5	5 < MCI
分類Bの道路	a	a	c
分類Cの道路	a	b	c

分類Dについては、補修が必要とされた時点とする。

## II-2.4 点検方法・点検頻度

点検方法と点検頻度を表一II-2-3に示す。

表一II-2-3 点検方法・点検頻度

分類	点検方法	点検頻度
分類Bの道路	目視を基本に必要なに応じて機器を使用	10年に1度
分類Cの道路	目視を基本に必要なに応じて機器を使用	10年に1度
分類Dの道路	道路パトロール、巡視・巡回の機会を通じた路面状況の把握	

## II-3. 対策の優先順位

道路の重要性や利用状況、舗装の損傷状況、工事の影響を考慮し修繕の優先順位を決定する。

- ①表一II-4-2を参考にランクaから優先する。
- ②最小MCIの値を参考に、修繕の必要な路線を優先する。
- ③重要度の高い路線を優先する。

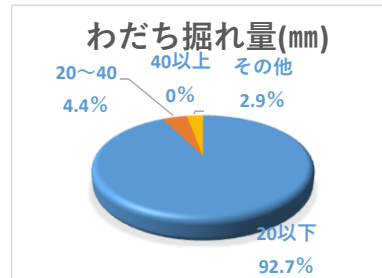
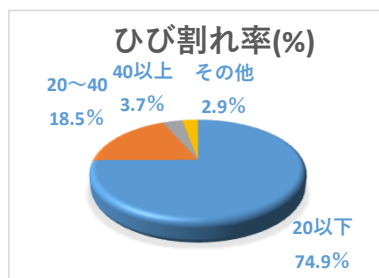
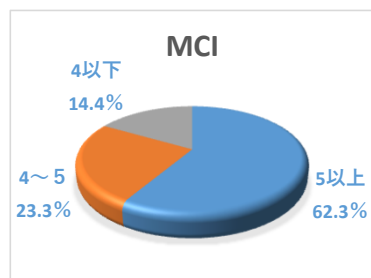
## II-4. 舗装の状態

平成25年度の調査結果に基づく診断結果を表一II-4-1に示す。

表一II-4-1 診断結果

単位 (m)

分類	(MCI ≤ 4)	(4 < MCI ≤ 5)	(5 < MCI)	計
分類Bの道路	5,695	9,792	20,838	36,325
分類Cの道路	4,462	6,606	22,993	34,061
計	10,157	16,398	43,831	70,386



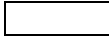


図一II-4-1 路面性状調査結果

表-Ⅱ-4-2 補修路線優先ランク

NO	路線 番号	路線名	備考	交通量 区分	最大 ひび割れ (%)	最大 わだち掘 れ	最大 縦断凹凸 (IRI)	最小 MCI	補修 優先 ランク
1	A0254	滑川中央線	上り線	C	28.3	15.5	6	3.8	a
2	A0254	滑川中央線	下り線	C	28.9	14.5	11	3.9	a
3	B0174	本江栗山線	下り線	B	44.3	31.5	9	2.3	a
4	A0001	滑川・富山線		B	42.0	23.0	10	2.9	a
5	A0173	滑川・駅前線	上り線	B	27.8	25.5	10	3.0	a
6	B0174	本江栗山線	上り線	B	43.5	32.0	10	3.0	a
7	A0174	柳原・中村線	0~500m 区間	B	36.5	10.0	6	3.4	a
8	A0002	菰原辰野線		B	27.8	15.5	14	3.9	a
9	B0036	上梅沢下梅沢線	500m~終点 区間	A	57.7	15.0	7	2.5	a
21	C0051	宮窪大島線	2840m~終点 区間	A	36.3	16.5	8	3.4	a
10	B0065	上島工場団地線		A	31.0	24.0	10	3.6	a
11	A0304	旧北陸街道線		A	26.3	21.0	16	3.9	a
12	A0005	江尻・高月線	0~335m 区間	A	24.6	16.8	6	4.0	a
13	C0137	大榎二塚線	下り線	L	63.0	29.0	11	1.6	a
14	B0051	宮窪上小泉線	上り線	L	54.5	17.0	13	2.6	a
15	C0035	旧県道栗山追分線		L	54.8	19.5	12	2.6	a
16	C0070	大日大浦線		L	53.8	11.5	16	2.6	a
17	B0175	赤浜宮窪線		L	45.0	17.0	10	3.0	a
18	C0137	大榎二塚線	上り線	L	44.3	13.0	13	3.0	a
19	B0009	東福寺・安田線		L	42.3	22.5	10	3.1	a
20	C0080	大榎宮窪線		L	39.8	14.0	7	3.3	a
22	A0174	柳原・中村線	500m~終点 区間	L	35.5	16.0	13	3.5	a
23	A0003	下島・柳原線	0~600m 区間	L	33.0	16.5	11	3.6	a
24	B0069	本江神田橋線		L	30.0	9.2	10	3.8	a
25	B0094	宮窪上小泉旧県道線		L	28.5	16.0	8	3.9	a
26	B0037	堀江上梅沢線		L	19.7	19.0	12	4.0	a
27	A0173	滑川・駅前線	下り線	B	25.0	8.0	10	4.1	a
28	C0089	大窪栗山線	上り線	B	23.8	14.5	7	4.1	a
29	C0089	大窪栗山線	下り線	B	16.4	15.5	8	4.5	a
30	B0095	上島上小泉線		B	16.8	17.3	12	4.8	a
31	S0003	下島・柳原線	600m~終点 区間	B	14.0	19.5	11	4.9	a
32	A0004	国道・橋場線	0~1145m 区間	A	20.4	15.0	10	4.3	a
33	A0348	駅南環状線		A	22.4	16.0	11	4.3	a
34	C0015	下大浦町内3号線		L	22.8	18.5	7	4.1	b
35	B0036	上梅沢下梅沢線	0~500m 区間	L	24.0	8.5	14	4.2	b
36	C0068	北野大掛線		L	24.2	15.5	9	4.2	b
37	B0023	寺町小林線		L	21.0	14.5	14	4.3	b
38	B0051	宮窪上小泉線	下り線	L	22.6	11.5	12	4.3	b
39	A0126	橋場・常盤町海岸線		L	20.9	14.0	16	4.4	b
40	A0004	国道・橋場線	1300m~終点 区間	L	17.6	26.0	9	4.5	b
41	B0075	東福寺野本江線		L	20.3	9.0	9	4.5	b
42	A0049	辰野曲淵線	上り線	L	12.1	16.2	10	4.9	b
43	A0264	坪川町内2号線		L	13.6	11.5	8	5.0	b
44	B0031	小林宮窪線		L	8.3	16.5	11	5.0	b

NO	路線 番号	路線名	備考	交通量 区分	最大 ひび割れ (%)	最大 わだち掘 れ	最大 縦断凹凸 (IRI)	最小 MCI	補修 優先 ランク
45	A0275	旧国道下島線		B	4.8	15.0	7	5.7	c
46	A0347	駅南中央線		B	7.7	9.5	5	5.9	c
47	A0276	下島上小泉線		B	6.2	9.0	8	6.0	c
48	B0096	上梅沢国道線		A	12.9	7.6	6	5.2	c
49	C0051	宮窪大島線	0~1675m 区間	A	8.1	12.5	9	5.6	c
50	A0302	下梅沢江尻線		A	6.9	6.0	5	6.0	c
51	A0101	高月加島町線		L	12.9	11.5	12	5.1	c
52	A0189	滑川駅前区画10号線		L	14.0	7.9	10	5.1	c
53	B0063	下梅沢上小泉線		L	9.4	20.0	16	5.1	c
54	C0053	中野島坪川線		L	12.9	16.0	11	5.2	c
55	A0005	江尻・高月線	885m~終点 区間	L	10.3	11.6	10	5.3	c
56	B0047	有金上島線		L	10.3	15.5	16	5.3	c
57	C0061	中村旧県道線		L	12.4	13.0	10	5.3	c
58	A0049	辰野曲淵線	下り線	L	8.8	16.3	8	5.5	c

	.....	ランクa 早急な修繕が望ましい
	.....	ランクb 部分的な補修が望ましい
	.....	ランクc 当面の維持修繕は不要

\*補修優先ランクは、路線に含まれるより上位のランクを代表としたものである。



## II-5. 対策の実施状況

### II-5.1 過去の実績内容

平成25年度～令和元年度までの修繕実績を表-II-5-1に示す。

表-II-5-1 平成25年度～令和元年度までの補修実績

補修実施時期	実施延長 (m)	概算修繕費 (円)
H25年度	1,678.0	62,634,600
H26年度	800.0	23,830,200
H27年度	62.0	5,005,800
H28年度	335.0	9,916,560
H29年度	137.0	11,678,040
H30年度	113.0	8,748,000
R元年度	231.0	9,494,000
合計	3,356.0	131,307,200

## II-5.2 令和3年度以降の優先順位

路面性状調査結果等から、以下の路線を修繕必要箇所として選定した。

表- II-5-2 対象路線優先順位表

優先順位	路線番号	路線名	MCI値5以下の残延長	10年間の想定修繕延長	10年間の想定修繕費	令和13年度以降の残延長	
1	A0001	滑川・富山線	L=1,778m	交通量が多く、MCI値が最も低い箇所から順次工事予定 10年間の想定修繕延長 L=4,500m 10年間の想定修繕費 ¥200,000,000 令和13年度以降の残延長 L=12,093m			
2	A0254	滑川中央線	L=300m				
3	B0174	本江栗山線	L=3,518m				
4	A0173	滑川・駅前線	L=345m				
5	A0174	柳原・中村線	L=2,985m				
6	B0036	上梅沢下梅沢線	L=935m				
7	C0051	宮窪大島線	L=895m				
8	A0304	旧北陸街道線	L=1,200m				
9	C0089	大窪栗山線	L=222m				
10	B0095	上島上小泉線	L=100m				
11	A0004	国道・橋場線	L=365m				
12	A0348	駅南環状線	L=100m				
			MCI値4以下の残延長				
平成	13	B0051	宮窪上小泉線		L=250m		
	14	C0035	旧県道栗山追分線		L=600m		
	15	C0070	大日大浦線		L=300m		
	16	B0175	赤浜宮窪線		L=900m		
	17	B0009	東福寺・安田線		L=900m		
	18	C0080	大榎宮窪線		L=600m		
	19	B0069	本江神田橋線		L=100m		
	20	B0094	宮窪上小泉旧県道線	L=200m			
	計	20路線	L=16,593m	L=4,500m	¥200,000,000	L=12,093m	

### III 付属施設

#### III-1.付属施設等の現状

##### III-1.1 管理施設

表-III-1-1 管理施設数

項目	数量
道路照明施設（独立式）	109基
道路照明施設（構造物取付式）	98基
道路標識	31基
道路土木構造物（擁壁・側溝）	746路線

※土木構造物については、平成25年に市道滑川中央線アンダーパス部分の擁壁の点検を実施し異常がないことを確認しているが、今後、昭和40年代に整備した側溝等の点検を実施していく必要がある。

##### III-1.2 本計画の対象施設

本計画では、市が管理する施設を対象とする。

#### III-2. 道路付属施設の維持管理の基本的な考え方

##### III-2.1 維持管理の基本方針

道路付属物の個別施設計画の策定は、点検結果を踏まえた適切な処置を行うことで、施設の長寿命化や維持修繕のライフサイクルコストの縮減を目指す。

##### III-2.2 点検方法・点検頻度

点検方法と点検頻度を表-III-2-1に示す。

表-III-2-1 管理施設数

区分	点検方法	点検頻度	点検要領
道路標識（片持式） ・道路照明施設	詳細点検	10年に1度	小規模付属物点検要領（平成29年3月国土交通省 道路局）
	中間点検	5年に1度	
道路・土木構造物	通常点検	巡視により変状が認められた場合に実施	道路土工構造物点検要領（平成29年8月国土交通省 道路局）

#### III-3. 対策の優先順位

本市では、平成26年度に道路付属物（照明、標識）の点検を行いました。その結果、一部の施設において  
図-II-4-1 路面性状調査結果

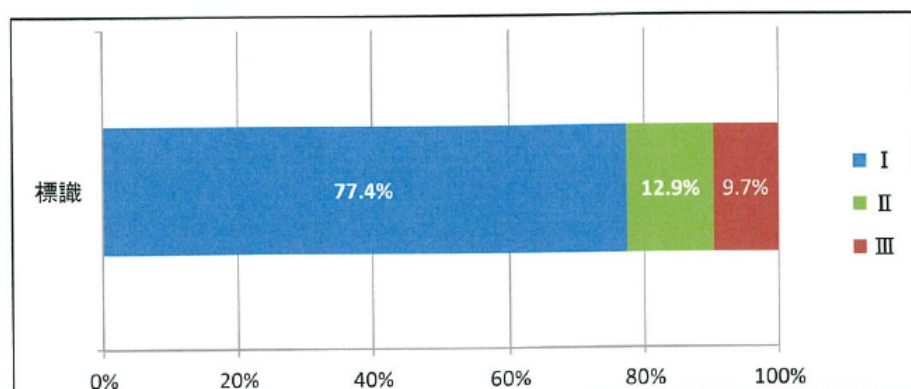
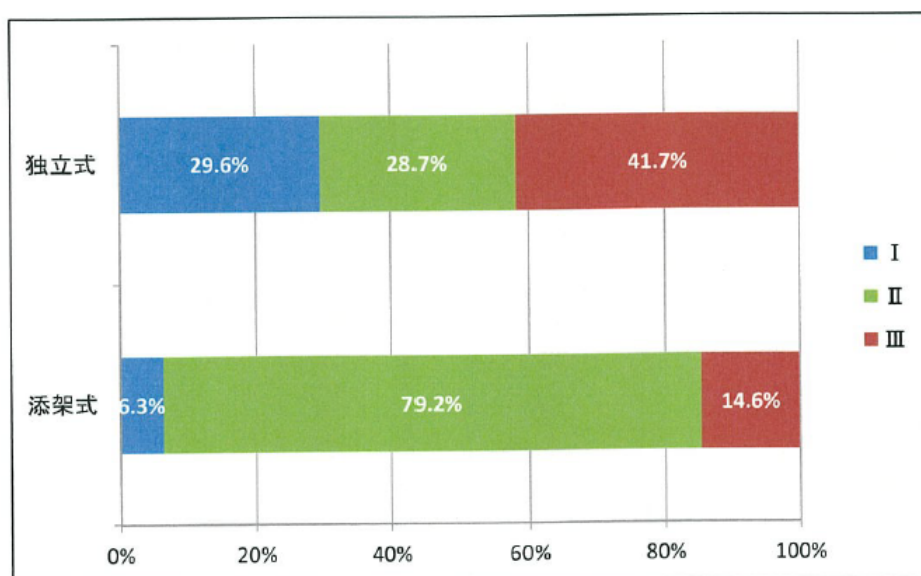
点検の結果、損傷が確認された施設について、優先的に対策を行っていきます。

※平成26年の点検結果を受け、取替修繕を実施し現在判定区分3で残っている街灯は、12基となっている。

### III-4. 付属施設の状態（点検結果）

判定区分	照明(独立式)		照明(添架式)		標識		合計 (基)
	基数	率	基数	率	基数	率	
I	34	31.2%	6	6.1%	24	77.4%	64
II	33	30.3%	76	77.6%	4	12.9%	113
III	42	38.5%	16	16.3%	3	9.7%	61
計	109	100.0%	98	100.0%	31	100.0%	238

判定Ⅰ： 異常なし  
 判定Ⅱ： 経過観察の必要あり  
 判定Ⅲ： 施設の倒壊、落下等のおそれあり



図一III-11.1 道路付属物点検調査結果

### III-5. 対策の実施状況

道路施設名称	点検施設数	修繕が必要な箇所	修繕済	残数
道路標識	31	3	3	0
道路照明施設	207	58	46	12
道路構造物（擁壁・側溝）	12			0
合計	250	61	49	12

### III-5.1 過去の実績内容

平成26年度～令和元年度までの修繕実績を表-III-6-1に示す。

表-III-5-1 平成26年度～令和元年度までの修繕実績

補修実施時期	修繕実績				概算修繕費（円）
	照明（基）	事業費	標識（基）	事業費	
平成 H26年度			2	2,918,160	2,918,160
H27年度	5	962,280	1	1,188,000	2,150,280
H28年度	14	9,288,000			9,288,000
H29年度	14	14,236,560			14,236,560
H30年度	1	1,114,560			1,114,560
R元年度	12	8,934,840			8,934,840
合計	46	34,536,240	3	4,106,160	38,642,400

### III-5.2 令和3年度以降の優先順位

表-III-5-2 対象路線優先順位表

補修実施時期	修繕実績				概算修繕費（円）
	照明（基）	事業費	標識（基）	事業費	
R3年度	3	2,000,000			2,000,000
R4年度	3	2,000,000			2,000,000
R5年度	3	2,000,000			2,000,000
R6年度	3	2,000,000			2,000,000
R7年度	3	2,000,000			2,000,000
R8年度	3	2,000,000			2,000,000
R9年度	3	2,000,000			2,000,000
R10年度	3	2,000,000			2,000,000
R11年度	3	2,000,000			2,000,000
R12年度	3	2,000,000			2,000,000
合計	30	20,000,000	0	0	20,000,000